

## 漁場造成構造物適格性検討会議事概要

1. 日時 令和4年12月9日（金） 午後13時30分～午後16時30分

場所 北海道第二水産ビル4S会議室

### 2. 議事

#### (1) 報告事項

##### 1) 昨年の議事について

- ・令和4年(2022年)度の使用構造物について

#### (2) 検討事項

##### 1) 令和5年(2023年)度新規漁場及び新規着工工区等の構造物について

- ・新規漁場 別紙のとおり

### 3 議事概要

(1) 目的 漁場整備工事の実施に係る魚礁ブロック等の新規構造物の選定にあたり、構成員から意見聴取を実施。

(2) 概要 水産林務部水産振興課より議事にある8漁場について、事業実施の際に使用を想定している構造物について、書面により選定理由を説明し、意見を聴取。

(3) 主な意見 令和5年度新規漁場及び新規着工工区等の使用想定構造物の選定について、特段意見はない。

#### (4) 参考意見

- ・小樽塩谷漁場（FP1.5G）については、波が強く砂の洗掘の懸念があるので、配置等の決定時には留意すること。
- ・戸井漁場（アルガリーフ）についても砂の影響が気になるので、検討したほうがよい。
- ・えさん漁場（アルガリーフ）については水深が10m以深いと深いので、コンブの着生が期待できるのか確認したほうがよい。
- ・アルガリーフにコンブが繁茂して、その後周囲にどれだけ広がるのか、コンブの回復起点となるのか、その辺の効果も確認していった方がよい。
- ・女那川漁場（FP1.5G）については、水深20～30mラインの沿岸藻場と沖合の魚礁をつなぐ中間地点として、魚類の育成に対して非常に重要な整備だと思うので、これからの整備の展開の1つの視点として有効ではないか。
- ・室蘭湾口及び白老クッターシ（魚礁）については、回遊性魚類とか、ソイ等の根付け魚含め、既存魚礁や隣の地区の魚礁などとの相互関係の中で移動しあっているのかなど、今後配置の検討の視点としても考える必要があるのではないか。

(5) その他 ・参考意見については、今後の事業実施の参考にいたします